

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	48	学校名	土岐商業高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域や企業等と連携・協働した学びを推進する商業高校として 最新の専門知識と実践的なビジネススキルの修得を通して 地域について考え、支えることができる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	1. 職員と生徒が一体となり、あらゆる教育活動を通して、質実剛健・明朗闊達な校風を樹立します。 2. 望ましい職業観を育成するとともに、誠実・勤勉で人間性豊かな産業人を育成します。 3. 普通教育と商業に関する専門教育との調和のとれた指導を通して、生涯にわたって、創意をはたかせ、進歩向上を図るための基礎的能力を育成します。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	◎「将来（先）を見据え、今すべきことを前向きに考え、挑戦・行動できる土岐商生」 ・学びに貪欲で、考えをもって失敗を恐れず挑戦し、継続的に行動できる生徒 ・豊かな心と自身をもち、他人を思いやり、共同・協働し、自分で考え行動できる生徒 ◎「商業を学び、地域貢献を大切にできる土岐商生」 ・商業に関する専門性を活かし、問題解決に対して主体的に行動できる生徒 ・地域とつながり、卒業後は即戦力のある人材として、地元や社会への貢献ができる生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・基礎・基本となる学力の定着を図り、学ぼうとする意欲を向上させ、ICTを活用しながらコミュニケーション能力と発信力を育成する専門教育 ・各種資格取得を目標とし、学科・コースを自ら選択した上で取り組む専門的な学習 ・地域を含む外部との連携で、実社会の課題を知り、できることを考え実行していく機会を体験する「探究的な学び」を推進	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・本校の校風と商業に関する専門的な学習や部活動に関心があり学びたい生徒 ・高校生活の中で具体的な目標を定め、積極的に取り組み、挑戦したいという意欲のある生徒 ・地域と関わる機会があれば自ら進んで参加し、校内では共同・協働の機会である部活動や生徒会活動を通じて、より良い社会の礎となるために考えて行動できる生徒	
学校の抱える課題	・定員が充たされるだけの入学者を確保できていない。安定した生徒数の確保のため、よき伝統を守りながらより魅力ある学校を作り、発信力を高めること。 ・高校卒業後の進路を決定するだけでなく、生涯にわたり「学ぶ」ことの重要性を理解させ、体系的な探究学習の構築が必要であること。 ・本校の良き伝統を守りつつ、商業高校生として必要なビジネスマナーを大切にし、「生きる力」と「豊かなこころを持つ」生徒を育成すること。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	生徒の主体的な学びを育みながら学校の魅力を内外に発信し、信頼と共感を得る学校作りの推進と職員が心身ともに健康である職場環境を図ります。 「繋がる」をテーマとした夢を語る商業教育を目指し、「学び」と「成長」の繋がりを実感できる授業やプロジェクトを推進します。	
	学習指導	ICT機器を活用し、生徒の状況に応じた学びを充実させ、専門知識・技術を習得し、各種資格取得を目指します。	
	進路指導	生徒一人ひとりが自己の生き方を考え、主体的に進路を選択し実現することができる能力や態度を育成します。	
	生徒指導	生徒一人ひとりに、より良く、よりたくましく「生きる力」を身に付け、将来を見据えた目標に向かって充実した学校生活を送ることのできる生徒を育成します。 生徒一人ひとりが他の人格を認め合い、「豊かなこころの持ち主」として成長できる生徒を育成します。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域 分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	中学生及びその保護者に本校の魅力を伝える機会を増やし、HPやSNSによるタイムリーな情報発信を行う。	施策Ⅳ-20	学校評価アンケート項目2 (90%以上の肯定的評価)				
	地域イベントへの積極的参加、講演会の機会を増やし、繋がることを大切にしたい心の教育の充実を図る。	施策Ⅰ-1	学校評価アンケート項目9 (90%以上の肯定的評価)				
	地域イベントや出前授業等、対外的なPRの場を積極的に設ける。	施策Ⅰ-4	令和8年度の入学者				
	業務の効率化を図り、分掌の垣根がない集団となるように努め、職員が心身ともに健康で勤務できるよう職場環境改善を図る。	施策Ⅳ-28	年度末の反省内容				
学習指導	ICT機器を活用した授業と効果的な運用（探究学習）により、生徒の状況に応じた学びの充実を図ります。	施策Ⅱ-9	学校評価アンケート項目10(90%以上の肯定的評価)				
	生徒が主体的に学ぶ「探究活動」の仕組みを構築し、実践的な学びを充実させ、課題解決能力を養うための仕組みを作る。	施策Ⅱ-13	学校評価アンケート項目24(89%以上の肯定的評価)				
	資格取得の目的や意義、目標を明確にし、合格のための指導体制を整え支援する。	施策Ⅱ-14	学校評価アンケート項目23(90%以上の肯定的評価)				
進路指導	キャリアガイダンスや土岐商WEP（インターンシップ）を通して考える機会を提供し、進路ノートを活用したLHRを充実させる。	施策Ⅱ-13	学校評価アンケート項目15(90%以上の肯定的評価)				
	基礎学力の定着に向けた小テスト・外部模試への取り組みを充実させる。	施策Ⅱ-8	学校評価アンケート項目22(91%以上の肯定的評価)				
	文章力、表現力を身に付けるための作文模試や天声人語の実施と支援を行う。	施策Ⅳ-23					
生徒指導	安全確保を最優先に考え、生命を尊重する態度を育成し、規範意識の高揚のため、外部講師による講話や全校集会等を通じて、モラルやマナーについて呼びかける。	施策Ⅲ-19	学校評価アンケート項目13(80%以上の肯定的評価)				
	「挨拶」「身だしなみ」「遅刻防止」を重点とし、全職員で粘り強く指導する。	施策Ⅰ-1	学校評価アンケート項目11(80%以上の肯定的評価)				
	職員間における適切な生徒情報の共有と連携を密にし、研修会の実施や外部機関の連携を深め、アンケートから早期発見に努め、連携して対応する。	施策Ⅰ-3	学校評価アンケート項目12(95%以上の肯定的評価)				
	生徒会活動、部活動など年間を通じて、自主的、計画的に活動できるよう指導する。	施策Ⅳ-25	学校評価アンケート項目20・21(90%以上の肯定的評価)				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日